

1. 件名：泊発電所3号炉の新規制基準適合性審査に関する面談について

2. 日時：令和元年10月8日(火) 17時15分～18時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

内藤安全規制調整官、田上上席安全審査官、佐口主任安全
審査官、谷主任安全審査官、熊谷安全審査専門官

北海道電力株式会社 榎執行役員 他6名

5. 要旨

(1) 北海道株式会社から、本年9月27日に開催された第778回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における、基準津波（日本海東縁部に想定される地震に伴う津波）及び地盤（敷地の地質・地質構造）に関する原子力規制委員会からの指摘事項について、提出資料を用いてその趣旨の確認があった。

(2) 原子力規制庁から、各指摘事項の内容に係る認識を相互で確認した後、地盤（敷地の地質・地質構造）のF-1断層の活動性評価に関する追加調査について、現地調査を今年降雪前には行えるよう、必要な資料を準備するよう再度求めた。

また、敷地内断層の活動性評価と直接関連しない、火山影響評価については、並行して審査を実施するため、本年10月中にも審査会合が実施できるよう対応を求めた。

(3) 北海道電力株式会社から、地盤（敷地の地質・地質構造）の現地調査を行うため、本年10月下旬には必要な資料を整える旨の回答があった。

また、敷地内断層の活動性評価の審査を優先して実施するため、当面の間は火山影響評価の審査会合は行わず、地盤（敷地の地質・地質構造）の審査に注力したい旨の回答があった。

6. 提出資料

・ 令和元年9月27日審査会合における指摘事項